令和6年度　自己評価・学校関係者評価報告

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和7年3月3日

社会福祉法人蒼生会

八万南ひまわり認定こども園

１　八万南ひまわり認定こども園教育・保育方針

「今を最もよく生き、望ましい未来を拓く力を培う」

２　教育・保育目標

０～５歳児の６年間の教育・保育を通して、多種多様な文化・社会で生き抜く土台作りを行う。

①家庭的雰囲気の中で、子どもの欲求を満たし生命の保持と情緒の安定を図る。

②生活に必要な生活習慣と態度を養う。

③人との関わりの中で、自己を表現しながら互いに認め育ち合う豊かな人間関係を育む。

④生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな感情や感性、思考力の

芽生えを培う。

⑤保護者に対し、その意向を受け止めながら、長期的な観点で子どもの最善の利益を保証するための援助を

行う。

|  |
| --- |
| 評価基準：　A/十分達成している　　B/ほぼ達成している　　C/検討を要する　　D/改善を要する |

１．教育・保育目標について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。 | B | しっかりと吟味する必要がある |
| 目標は、施設や地域の特徴を生かしているか。 | B |  |
| 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 | B |  |
| 目標は、前年度の反省を生かしながら全職員で検討し、かつ共通理解をはかっているか。 | C | 全職員での検討や浸透が難しい |

２．教育・保育内容について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 指導計画は、教育課程や全体的な計画に基づき作成しているか。 | B |  |
| 毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。 | C | ・子どもの発達を捉えきれていない・計画することが目的になっている |
| 月ごとに指導計画の評価や見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか。 | A |  |
| 1日の流れ（デイリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか。 | C | 職員に任せているため、把握できていない |
| 行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか。 | B | 計画は立てられているが、内容や方法に課題がある |
| 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助や支援を適切に行っているか。 | B |  |
| 自主性や主体性を重んじて、生活習慣が身に付くようにしているか。 | B |  |
| 子どもの姿を見守り、興味や関心に応じた教育・保育を行っているか。 | B | 「見守り」の観点や方法の共通理解ができていない |
| 子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか。 | C | ・職員による・その日を終えるだけになっている |
| 同僚性を発揮し、教育・保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか。 | C | 連携や議論がなかなかできていない |
| 素材・用具を適切に活用しているか。 | C | ・物が壊れたり、紛失したりしていても報告がない |
| 教育・保育のサポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか。 | B |  |
| 子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか。 | C | 子どもが聞いている前で、子どもの話をしていないか、気にしておく必要がある |

３．健康・安全について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか。 | B |  |
| 食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか。 | B |  |
| 年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか。 | C | うつぶせ寝に気を付ける必要性が職員によって異なることを感じている |
| 健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くよう取り組んでいるか。また、家庭への啓発を行っているか。 | B |  |
| 避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。 | A |  |
| 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。 | B |  |

４．職員の資質向上

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか。 | A |  |
| 研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか。 | B |  |
| 研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。 | B | 若い職員からの自己課題と研修参加意欲がほしい |
| 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。 | C | 時間の都合で、しっかりと伝えられていない |

５．運営管理・職員間について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか。 | C | 連携が取れていなかったり、伝え合う必要感が理解されていなかったりする気がする |
| 職員を適材適所に配置し、役割や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか。 | B |  |
| 各種会議や打ち合わせを適切かつ効率に進めているか。 | B | もっと話し合う機会があってもいいと感じる |
| 職員は責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。 | C |  |
| 運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しを行っているか。 | B |  |

６．守秘義務の遵守

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。 | A |  |
| 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。 | A |  |
| 各表簿は、適切に作成、処理しているか。 | A |  |

７．【開かれたこども園づくり】施設・地域との交流や連携

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 他の施設等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に沿ったものになっているか。 | B |  |
| 地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助、支援を行っているか。 | B |  |
| 担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互恵性のある交流になるように工夫しているか。 | C | 架け橋期カリキュラムは作成したが、子どもだけでなく、大人同士の交流が必要である |
| 合同研修や授業や教育・保育の見学を通して、互いの教育・保育に対して理解を深めているか。 | C | 合同研修はあまりできていない |
| 乳幼児の興味や関心に基づいて、地域の施設等を利用し、教育・保育に生かしているか。 | C |  |
| 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。 | C | 少ししか参加できていない |
| 子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか。 | A |  |

８．【開かれたこども園づくり】子育て支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 職員による「子育て相談」はできているか。 | A |  |
| 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。 | B |  |
| 一時預かり保育の利用者にとって、安心できる場になるよう努めているか。 | A |  |

９．【開かれたこども園づくり】情報の発信

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか。 | A |  |
| 地域の連絡会等で園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか。 | B | あまりできていない |

10．【開かれたこども園づくり】外部評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。 | C | 検討中である |
| 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。 | C | 反映しながらも、全ての意見は取り入れられていない |

11．施設・設備

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか。 | B |  |
| 遊具や用具等を活用しやすいように、整理や保管をしているか。 | C | 物の扱いが乱雑だったり、紛失したりすることを多く感じる |
| 災害や不審者等に対応する整備を行っているか。 | B |  |
| 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。 | A |  |

12．経理出納

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容 | 評価 | 理由等 |
| 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。 | A |  |

|  |
| --- |
| 成　果 |
| 〇少しずつであるが、職員同士の議論や連携ができるようになってきた。○教育・保育中で気になることや保育内容の相違点など、その都度伝えることで表通理解を図ることができた。○「引き渡し訓練」「3,4歳児クラス懇談」を新たにおこなった。「引き渡し訓練」では、改善点が見つかった意味からも、毎年実施する大切さを感じた。「クラス懇談」においては、担任の教育・保育に対する思いや考えが良く分かり、実施してよかった。○職員全員の協力のもと、休憩時間（ノンコンタクトタイム）を交代で取れていた。 |
| 課　題 |
| 〇教育・保育の共通理解をもっとおこなっていく。○クラスによりやり方が違っており、クラス単位での考え方が強いあまり、横のつながりが希薄に感じる。園全体で連携をもっと取りながら、子どもを育てていくよう努めたい。○それぞれの年齢における発達をきちんとおさえられているか疑わしいときがあるため、発達をおさえたうえで計画を立てて、しっかりと見通しをもちながら相応しい教育・保育ができるように心掛けたい。 |
| 改善策 |
| 〇職員間の意思疎通や共通理解ができるように、何でも話せる雰囲気や関係性を構築するために、日頃からの一層のコミュニケーションをとることを心掛ける。○毎月の職員会自体の内容の見直し、簡素化し過ぎず、教育・保育の振り返りとねらいなどの計画をしっかり行い、それを全体で周知できるようにする。○毎月の職員研修では、様々な分野の知識を身に付けていき、職員の資質向上をおこなっていく。○指導計画作成において、子どもの発達（現状）とねらいをしっかりと把握・議論できるよう、職員会の内容と関連づけながらできるようにしていく。 |

13．学校関係者評価（次頁添付）への対応

〇【良い点・褒めていただいた内容等】は、まずは職員全員の自信と今後の励みになるものとして受け取り、今後も変わらず、子どもの最善の利益の保障ために努めていきたいと考えている。

〇【良くない点・ご意見等】に対しては、必要に応じて改善したり、保護者にさらに説明したりすることで理解を得ていくように努める。

〇【改善点・要望等】は、職員間で検討し、事柄によっては改善し、保護者に説明するなどにより対応していく。

〈添付〉学校関係者評価（保護者による）







